(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2016 年 6 月 23 日(23.06.2016)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2016/098672 A1

(51) 国際特許分類:
A47C 31/02 (2006.01) *B60N 2/70* (2006.01)
A47C 7/28 (2006.01) *B68G 7/052* (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2015/084608

(22) 国際出願日: 2015 年 12 月 10 日(10.12.2015)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2014-254019 2014 年 12 月 16 日(16.12.2014) JP

(71) 出願人: デルタ工業株式会社(DELTA KOGYO CO., LTD.) [JP/JP]; 〒7358501 広島県安芸郡府中町新地１番１４号 Hiroshima (JP).

(72) 発明者: 奥井　貴弘(OKUI, Takahiro); 〒7358501 広島県安芸郡府中町新地１番１４号　デルタ工業株式会社内 Hiroshima (JP). 須本　勝美(SUMOTO, Katsumi); 〒7358501 広島県安芸郡府中町新地１番１４号　デルタ工業株式会社内 Hiroshima (JP). 佐藤　友治(SATO, Yuji); 〒7358501 広島県安芸郡府中町新地１番１４号　デルタ工業株式会社内 Hiroshima (JP).

(74) 代理人: 小谷　悦司, 外(KOTANI, Etsuji et al.); 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島２丁目２番２号大阪中之島ビル２階 Osaka (JP).

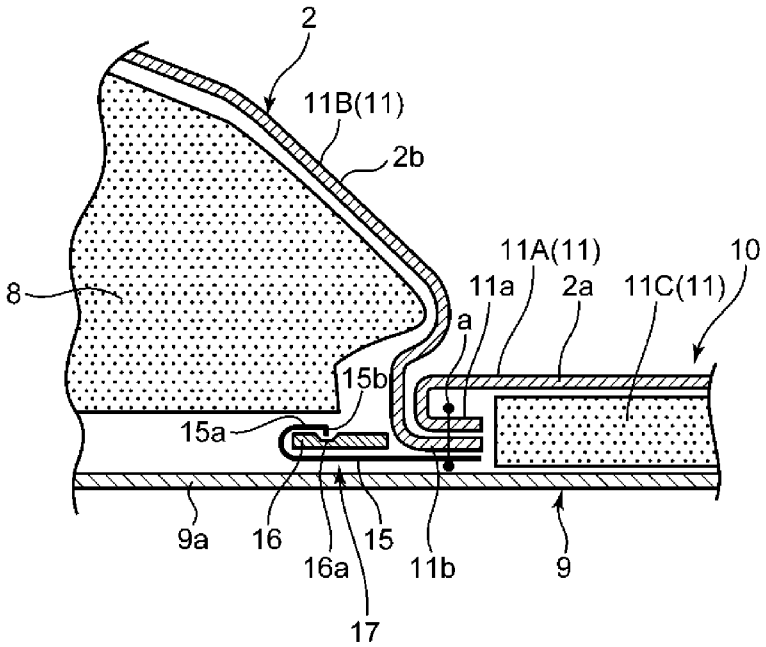
(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) **Title**: SEAT

(54) 発明の名称 : シート



(57) **Abstract**: A vehicle seat (1) includes a seat frame (6), an elastic sheet (9) stretched over the seat frame (6), and a trim (10) provided on the elastic sheet (9). The elastic sheet (9) includes an engaging part to be engaged with the trim (10), the engaging part having an engaging plate (16). The trim (10) includes a trim body (11) and a trim end (15) that is attached to the trim body (11) and is engaged with the engaging plate (16) so as to tension the trim body (11).

(57) 要約: 自動車用のシート（１）は、シートフレーム（６）と、このシートフレーム（６）に張設された弾性シート（９）と、この弾性シート（９）上に設けられたトリム（１０）とを備える。弾性シート（９）は、係止板（１６）を有する、トリム（１０）の係止部を備える。トリム（１０）は、トリム本体（１１）と、このトリム本体（１１）に取り付けられて、当該トリム本体（１１）を引っ張った状態で前記係止板（１６）に係止されるトリムエンド（１５）とを備えている。

WO 2016/098672 A1

添付公開書類:

— 国際調査報告（条約第 21 条(3)）

明　細　書

発明の名称 ： シート

技術分野

[0001] 本発明は、シートフレームに弾性シートが張設されてなるシートに関する。

背景技術

[0002] 車両用のシートは、シートフレームと、このシートフレームに取り付けられるクッション用パッド（クッション材）と、このクッション用パッドを覆うトリム（表皮）とを備えるものが一般的であるが、近年、シートフレームに弾性シートが張設されてなるシートも開発されている（特許文献１）。この弾性シートにはクッション作用があるので、クッション用パッドを薄くすることができ、これによってシート全体を薄くできるという利点がある。

[0003] 他方、トリムは、その一部を引っ張りながらシートフレームに係止されているのが一般的である。具体的には、トリムの吊り込み部に取付けた吊り込み布のワイヤを、クッション用パッド内に設けられたワイヤにホグリング（連結具）で係止するものである（特許文献２）。

[0004] 特許文献１のような弾性シートを備えた車両用のシートのトリムも同様であるが、次のような課題がある。すなわち、特許文献２のような構造は、クッション用パッドに、吊り込み布のワイヤと、シートフレーム側のワイヤと、ホグリングとを収めるための深い吊り込み溝を形成する必要があるので、クッション用パッドが厚いシートに適している。

[0005] そのため、特許文献１のように、弾性シートを採用することによりクッション用パッドを薄くしたシートは吊り込み溝の深さを確保し難く、トリムを十分に引っ張った状態で吊り込むことが難しいという課題があった。

[0006] なお、トリムを吊り込む代わりに、トリムと弾性シートとを所望の形状が出るように予め縫着しておくことも考えられるが、両者を縫着した状態では、弾性シートをシートフレームに組み付ける作業が困難になる。また、シー

ト内にヒータやセンサを組み込む仕様である場合、その仕様毎にトリムを設定しなければならない。さらに、弾性シートをシートフレームに組み付けた後には、トリムを動かせないので、トリムのシワが取れにくい等の幾多の問題がある。

先行技術文献

特許文献

[0007] 特許文献1：特開２０１４－９４０７６号公報

特許文献2：特開２００１－６１６０７号公報

発明の概要

[0008] 本発明は、弾性シートを採用したシートにおいて、トリムを簡単かつ良好に吊り込むことができる技術を提供することを目的とするものである。

[0009] そして、本発明のシートは、シートフレームと、前記シートフレームに張設された弾性シートと、前記弾性シート上に設けられたトリムと、を備え、前記弾性シートは、前記トリムの係止部を備え、前記トリムは、トリム本体と、このトリム本体に取り付けられて、当該トリム本体を引っ張った状態で前記係止部に係止される被係止部とを備えているものである。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]図１（ａ）は、本発明の実施形態に係る自動車用シートの要部斜視図であり、図１（ｂ）は、前記自動車用シートのフレームの要部斜視図である。

[図2]図２は、前記自動車用シートのトリム係止構造を示す、図１（ａ）のＩ－Ｉ線断面図である。

[図3]図３（ａ）は、前記トリム係止構造におけるトリムエンドと係止板との係止前の平面図であり、図３（ｂ）は、前記トリムエンドと前記係止板との係止後の平面図である。

[図4]図４（ａ）は、前記自動車用シートのトリム係止構造の変形例を示す、図１（ａ）のＩＩ－ＩＩ線断面図であり、図４（ｂ）は、前記トリム係止構造における差し込み片の係止前の分解斜視図である。

[図5]図５（ａ）は、前記トリム係止構造の別の変形例を示す断面図であり、図５（ｂ）は、トリム係止構造のさらに別の変形例を示す断面図である。

発明を実施するための形態

[0011] 以下、本発明を実施するための形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。図１（ａ）は自動車用シート１の要部斜視図であり、図１（ｂ）は、前記自動車用シート１のフレーム６、７の要部斜視図である。

[0012] 自動車用シート１（以下、シート１と略す）はシートクッション２とシートバック３とで構成されている。そして、リクライニング軸４を含むリクライニング機構（不図示）により、シートクッション２に対してシートバック３が前後傾自在に支持されている。

[0013] シートクッション２の左右下部には、シート１の前後位置を調整するためのスライダー５がそれぞれ取付けられている。

[0014] シートクッション２の内部にはシートフレーム６が設けられ、シートバック３の内部にはシートフレーム７が設けられている。シートフレーム６、７は、以下、フレーム６、７と略す。

[0015] フレーム６のうち、シートクッション２の座面２ａに対応する位置には、クッション性を有する弾性シート９が配置され、両サイド部分２ｂに対応する位置には、盛り上がったクッションパッド８（図２参照）が配置されている。そして、弾性シート９およびクッションパッド８がトリム（表皮）１０により被覆されている。

[0016] フレーム７のうち、シートバック３の背当たり面３ａや両サイド部分３ｂに対応する位置には、クッションパッド（不図示）が配置され、これらがトリム（表皮）１２により被覆されている。

[0017] シートクッション２のフレーム６は右部フレーム６ａと左部フレーム６ｂとを備えており、前記弾性シート９は、右部フレーム６ａと左部フレーム６ｂとに跨って平面状に張設されている。弾性シート９は、伸縮性のあるネット体で構成され、クッションベースネットとも呼ばれている。なお、弾性シート９については、一例として特開２０００－１１６４６０号公報で「ネッ

ト状の面状弾性体」として開示されているので、ここでの詳細な説明は省略する。弾性シート９は、伸縮性（クッション性）があればよく、必ずしもネット体に限られるものではない。

[0018] 図２は、シート１のシートクッション２のトリム係止構造を示す、図１（ａ）のＩ－Ｉ線断面図である。また、図３（ａ）は、前記トリム係止構造におけるトリムエンド１５と係止板１６との係止前の平面図であり、図３（ｂ）は、前記トリムエンド１５と前記係止板１６との係止後の平面図である。

[0019] シートクッション２のトリム１０は、トリム本体１１と、このトリム本体１１に取り付けられて、当該トリム本体１１を引っ張った状態で前記弾性シート９に係止するトリムエンド１５（本発明の被係止部に相当する）とを備えている。

[0020] トリム本体１１は、着座者の臀部が接触するメイン材１１Ａと、その側部が接触するサイド材１１Ｂとで構成されている。メイン材１１Ａの下方には弾性シート９が臨み、サイド材１１Ｂはクッションパッド８を被覆している。

[0021] メイン材１１Ａは、その下面にクッション材（プリーツパッドと呼ばれることがある）１１Ｃが取付けられたもので、クッション材１１Ｃは、メイン材１１Ａと弾性シート９との隙間を補填する厚さに設定されている。クッション材１１Ｃは、メイン材１１Ａに取り付けられているが、クッション材１１Ｃは、メイン材１１Ａとは別体であってもよい。なお、当例では、クッション材１１Ｃが本発明のメインクッション部に相当し、上記クッションパッド８が本発明のサイドクッション部に相当する。

[0022] メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂの各端部は、重ね合わされて内向きに折り曲げられ、この重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂに、樹脂又は金属で形成された上向きフック状、具体的にはＵ字型のトリムエンド１５（本発明の被係止部に相当する）が重ねられて、当該重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂとトリムエンド１５が一体に縫着されている（縫着部ａ）。

[0023] 弾性シート９は、上記シートフレーム６に張設された弾性シート本体９ａ

と、この弾性シート本体９ａの上面に取り付けられた係止板１６とを含む。係止板１６は、シート１の前後方向に延在する長方形の樹脂又は金属製の板状の部材である。係止板１６は、長手方向の両端部分と中間部分の３箇所で弾性シート９に逢着されている（縫着部ｂ）。各縫着部ｂの間には、弾性シート９との間の隙間からトリムエンド１５の２箇所のフック部１５ａを差し込めるようになっている。つまり、弾性シート９のうち、隣接する上記縫着部ｂの間の位置に、上記フック部１５ａの係止部であって、係止板１６と弾性シート本体９ａとの間に形成された空隙を有する係止部１７が設けられている。

[0024] 図２（ａ）に示すトリム係止構造は、シートフレーム６に弾性シート９が張設されてなるシート１を前提としている。トリム１０は、トリム本体１１（メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂ）とトリムエンド１５とで構成され、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂにトリムエンド１５が取付けられている。また、弾性シート９は、弾性シート本体９ａとこれに取付けられた係止板１６とで構成されている。

[0025] そして、図３（ａ）の矢印のように、トリムエンド１５とともにメイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂが外横向き方向に引っ張られた状態で、トリムエンド１５のフック部１５ａが弾性シート９の係止部１７に係止されている。詳しくは、フック部１５ａが、係止板１６の各縫着部ｂの間の位置で、係止板１６と弾性シート本体９ａとの隙間に差し込まれて、図３（ｂ）のように係止板１６に係止されている。これにより、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂが弾性シート９に吊り込み状態で係止されている。

[0026] したがって、弾性シート９が使用された上記シート１、つまり、メイン材１１Ａと弾性シート９との距離（間隔）が短くなるシート１であっても、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとを良好に吊り込むことができる。換言すれば、吊り込み部を容易に形成することができる。なお、メイン材１１Ａを複数片に分割し、各分割片の重ね合わせ端部を吊り込めば、メイン材１１Ａだ

けに吊り込み部を形成することもできる。

[0027] また、メイン材１１Ａと弾性シート９とが別々であるので、メイン材１１Ａと弾性シート９とを所望の形状が出るように予め縫着しておく構造に比べて、弾性シート９をフレーム６に組み付ける作業が容易になる。また、シート１内にヒータやセンサを組み込む仕様である場合も、その仕様毎にメイン材１１Ａを設定する必要がない。さらに、弾性シート９をフレーム６に組み付けた後でも、メイン材１１Ａおよびサイド材１１Ｂを動かせるので、メイン材１１Ａおよびサイド材１１Ｂのシワ取り等がし易くなり、外観を良くするための微調整を容易に行うことができる。

[0028] また、トリムエンド１５のフック部１５ａを、弾性シート本体９ａと係止板１６との間の隙間に差し込みながら、係止板１６に係止するだけであるから、係止作業性が良好になる。

[0029] なお、図２のように、フック部１５ａの先端に下向きの突起１５ｂを形成し、係止板１６の上面にフック部１５ａの突起１５ｂを係止する係止溝１６ａを形成することができる。このようにすれば、フック部１５ａが係止板１６から抜け外れないように保持することができる。

[0030] 図４（ａ）は、シート１のシートクッション２のトリム係止構造の変形例を示す、図１（ａ）のＩＩ－ＩＩ線断面図であり、図４（ｂ）は、そのトリム係止構造における差し込み片１８の係止前の分解斜視図である。

[0031] シートクッション２のトリム１０は、トリム本体１１と、このトリム本体１１に取り付けられて、当該トリム本体１１を引っ張った状態で前記弾性シート９に係止する差し込み片１８とを備えている。

[0032] トリム本体１１は、着座者の臀部が接触するメイン材１１Ａと、その側部が接触するサイド材１１Ｂとで構成されている。メイン材１１Ａの下方には弾性シート９が臨み、サイド材１１Ｂはクッションパッド（不図示）を被覆している。なお、メイン材１１Ａは、図２の例と同様に、下面にクッション材１１Ｃが取付けられたものである。

[0033] メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂの各端部は、重ね合わされて外向きに折

り曲げられ、この重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂに、樹脂又は金属で形成された板状の差し込み片１８が重ねられて、当該重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂと差し込み片１８とが一体に縫着されている（縫着部ａ）。

[0034] 弾性シート９には、シート１の前後方向に延在し、差し込み片１８を差し通し可能なスリット９ｂ（本発明の開口部（係止部）に相当する）が形成されている。

[0035] 図４（ａ）に示すトリム係止構造は、シートフレーム６に弾性シート９が張設されてなるシート１を前提としている。トリム１０は、トリム本体１１（メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂ）と差し込み片１８とで構成され、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂに差し込み片１８が取付けられている。また、弾性シート９にはスリット９ｂが形成されている。

[0036] そして、差し込み片１８とともにメイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂが下向きに引っ張られた状態で、差し込み片１８が弾性シート９のスリット９ｂに差し通されて、図４（ａ）に示すように、水平方向にひねられることで、弾性シート９に係止されている。これにより、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂが弾性シート９に吊り込み状態で係止されている。

[0037] したがって、弾性シート９が使用されて、メイン材１１Ａと弾性シート９との距離が短くなるシート１であっても、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとを良好に吊り込むことができる。

[0038] また、重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂの差し込み片１８を、弾性シート９のスリット９ａに差し通すだけであるから、係止作業性が良好になる。

[0039] 図５（ａ）は、シート１のシートクッション２のトリム係止構造の別の変形例を示す断面図であり、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂに設けられた吊り込み布１１ｃに面ファスナ２０のフック部２０ａが取付けられ、弾性シート９の上面に面ファスナ２０のループ部２０ｂが取付けられたものである。なお、フック部２０ａとループ部２０ｂ

は逆に取付けられていてもよい。当例では、上記ループ部２０ｂが本発明の係止部に相当し、上記吊り込み布１１ｃおよびフック部２０ａが本発明の被係止部に相当する。

[0040] ここで、面ファスナ２０とは、フック部２０ａとループ部２０ｂとが対をなして、両者を強く圧迫すると、フック部２０ａとループ部２０ｂとが互いに係止され、フック部２０ａとループ部２０ｂとを手で強く引き剥がすようにすると、フック部２０ａとループ部２０ｂとの係止状態が解除されるものである。面ファスナ２０は、メカニカルファスナとも呼ばれている。

[0041] このように構成しても、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂが弾性シート９に吊り込み状態で係止される。

[0042] 図５（ｂ）は、シート１のシートクッション２のトリム係止構造のさらに別の変形例を示す断面図であり、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂに設けられた吊り込み布１１ｃにワイヤ２１が取付けられ、弾性シート９に補強材２２が縫着されている（縫着部ｄ）。そして、ワイヤ２１に設けられたリング状のクリップ２３で当該ワイヤ２１と補強材２２とが互いに係止されている。当例では、上記補強材２２が本発明の係止部に相当し、上記吊り込み布１１ｃおよびワイヤ２１が本発明の被係止部に相当する。

[0043] このように構成しても、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂを弾性シート９に吊り込み状態で係止することができる。

[0044] 前記実施形態は、メイン材１１Ａとサイド材１１Ｂとの重ね合わせ端部１１ａ，１１ｂの吊り込みであったが、例えば広面積であるメイン材１１Ａの一部、つまり、メイン材１１Ａの両端より内側の位置を吊り込むようにすることもできる。

[0045] 前記実施形態は、フロントシート１のシートクッション２に本発明が適用された例について説明したが、本発明は、シートバック３にも同様に適用できる。また、本発明は、リアシートにも適用でき、さらに、自動車以外のシ

ートにも適用できる。

[0046] 以上説明した本発明をまとめると以下の通りである。

[0047] すなわち、本発明のシートは、シートフレームと、前記シートフレームに張設された弾性シートと、前記弾性シート上に設けられたトリムと、を備え、前記弾性シートは、前記トリムの係止部を備え、前記トリムは、トリム本体と、このトリム本体に取り付けられて、当該トリム本体を引っ張った状態で前記係止部に係止される被係止部とを備えているものである。

[0048] この構成によれば、トリム本体を引っ張りながら弾性シートに係止することができる。つまり、トリムを良好に吊り込むことができる。

[0049] したがって、弾性シートを採用したシートであっても、トリムに吊り込み部を容易に形成することができる。

[0050] また、トリムと弾性シートとが別々であるので、トリムと弾性シートとが予め縫着されている構造に比べて、弾性シートをシートフレームに組み付ける作業が容易になる。また、シート内にヒータやセンサを組み込む仕様である場合に、その仕様毎にトリムを設定する必要がない。さらに、弾性シートをシートフレームに組み付けた後でも、トリム（トリム本体）を動かせるので、トリムのシワ取り等がし易くなり、外観を良くするための微調整を容易に行うことができる。

[0051] 上記シートにおいて、前記係止部は、前記被係止部を挿入した状態で係止するための空隙を有しているのが好適である。

[0052] この構成によれば、被係止部が空隙に挿入された状態で係止部に係止されるので、トリムを簡単かつ確実に弾性シートに係止することが可能となる。

[0053] この場合、より具体的には、前記弾性シートは、弾性シート本体と、この弾性シート本体に取り付けられて当該弾性シート本体との間に前記空隙を形成する係止板とを備え、前記被係止部は、Ｕ字型を成し、前記空隙に挿入された状態で前記係止板に係止されている。

[0054] この構成によれば、弾性シート本体と係止板との間の隙間にフック状の被係止板を差し込みながら、この被係止部を係止板に係止するという簡単な構

成で、トリムを簡単かつ確実に弾性シートに吊り込み状態で係止することが可能となる。

[0055] また、別の具体的な構成として、前記係止部は、前記弾性シートに形成された開口部であり、前記被係止部は、前記開口部に差し込まれることにより前記トリム本体に係止される板状の差し込み片であってもよい。

[0056] この構成によれば、差し込み片を開口部に差し通すという簡単な構成で、トリムを簡単かつ確実に弾性シートに吊り込み状態で係止することが可能となる。

[0057] 上記シートにおいては、前記弾性シートと前記トリム本体との間にクッション材を備えているものであってもよい。

[0058] この構成によれば、シートのクッション性をより向上させることが可能となる。

[0059] この場合、前記クッション材は、着座者の臀部若しくは背部を受けるメインクッション部と、このメインクッション部の側方に配置されて着座者の側部を受けるサイドクッション部とを含み、前記トリム本体は、前記メインクッション部を覆うメイン部と前記サイドクッション部を覆うサイド部とを含み、かつ、これらの端部同士が重ね合された重ね合わせ端部を有し、前記被係止部は、前記重ね合わせ端部に取り付けられているものであってもよい。

[0060] この構成によれば、メイン材とサイド材とを、メインクッション部とサイドクッション部との間を通じて弾性シートに吊り込んだ状態で係止することが可能となる。

請求の範囲

[請求項1] シートフレームと、

前記シートフレームに張設された弾性シートと、

前記弾性シート上に設けられたトリムと、を備え、

前記弾性シートは、前記トリムの係止部を備え、

前記トリムは、トリム本体と、このトリム本体に取り付けられて、当該トリム本体を引っ張った状態で前記係止部に係止される被係止部とを備えている、ことを特徴とするシート。

[請求項2] 請求項１に記載のシートにおいて、

前記係止部は、前記被係止部を挿入した状態で係止するための空隙を有している、ことを特徴とするシート。

[請求項3] 請求項２に記載のシートにおいて、

前記弾性シートは、弾性シート本体と、この弾性シート本体に取り付けられて当該弾性シート本体との間に前記空隙を形成する係止板とを備え、

前記被係止部は、Ｕ字型を成し、前記空隙に挿入された状態で前記係止板に係止されている、ことを特徴とするシート。

[請求項4] 請求項２に記載のシートにおいて、

前記空隙は、前記弾性シートに形成された開口部であり、

前記被係止部は、前記開口部に差し込まれることにより前記弾性シートに係止される板状の差し込み片である、ことを特徴とするシート。

[請求項5] 請求項１乃至４の何れか一項に記載のシートにおいて、

前記弾性シートと前記トリム本体との間にさらにクッション材を備えている、ことを特徴とするシート。

[請求項6] 請求項５に記載のシートにおいて、

前記クッション材は、着座者の臀部若しくは背部を受けるメインクッション部と、このメインクッション部の側方に配置されて着座者の

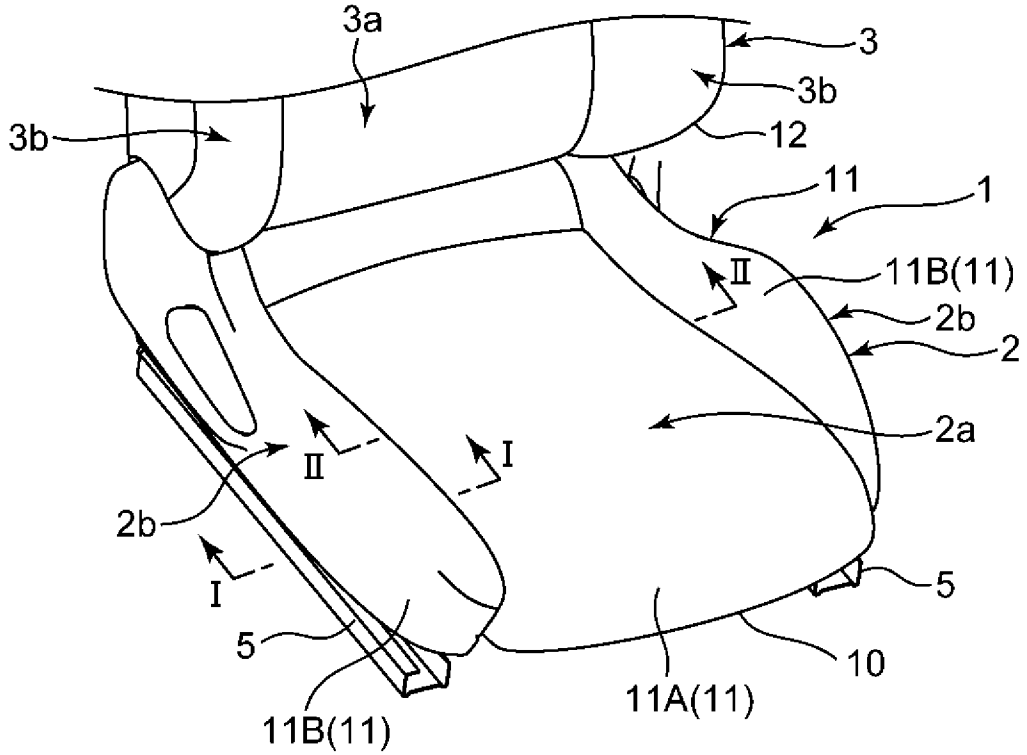
側部を受けるサイドクッション部とを含み、

前記トリム本体は、前記メインクッション部を覆うメイン部と前記サイドクッション部を覆うサイド部とを含み、かつ、これらの端部同士が重ね合された重ね合わせ端部を有し、

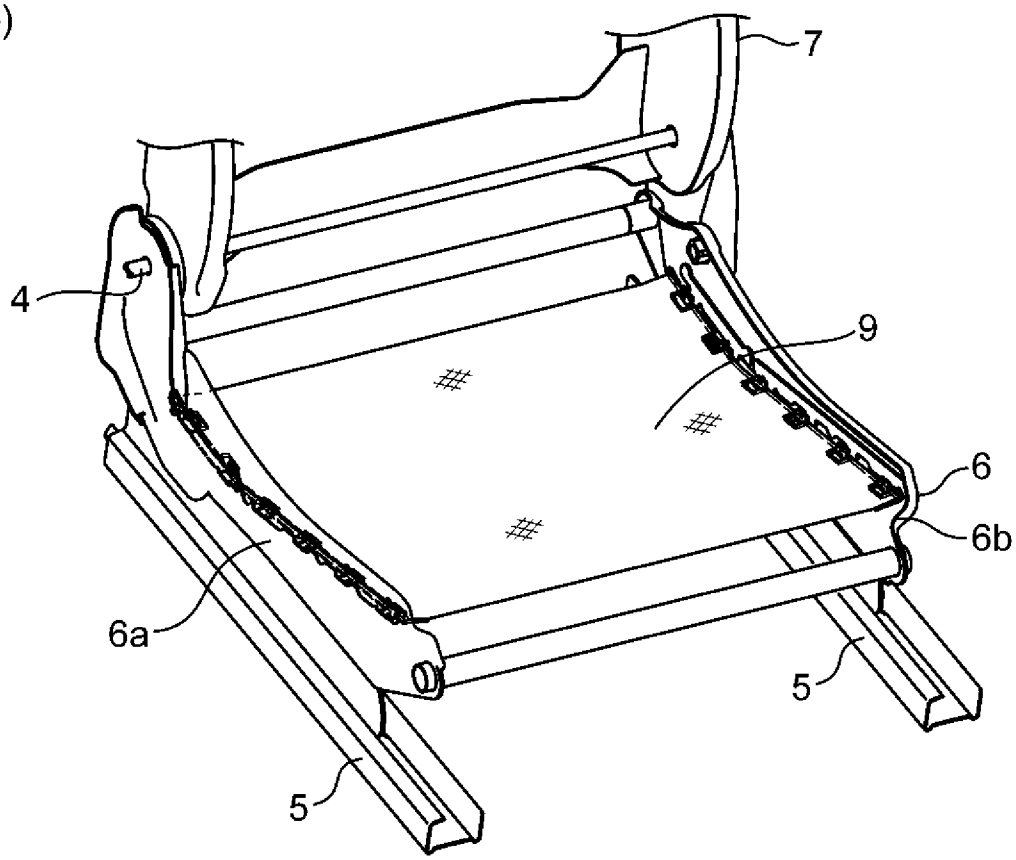
前記被係止部は、前記重ね合わせ端部に取り付けられている、ことを特徴とするシート。

[図1]

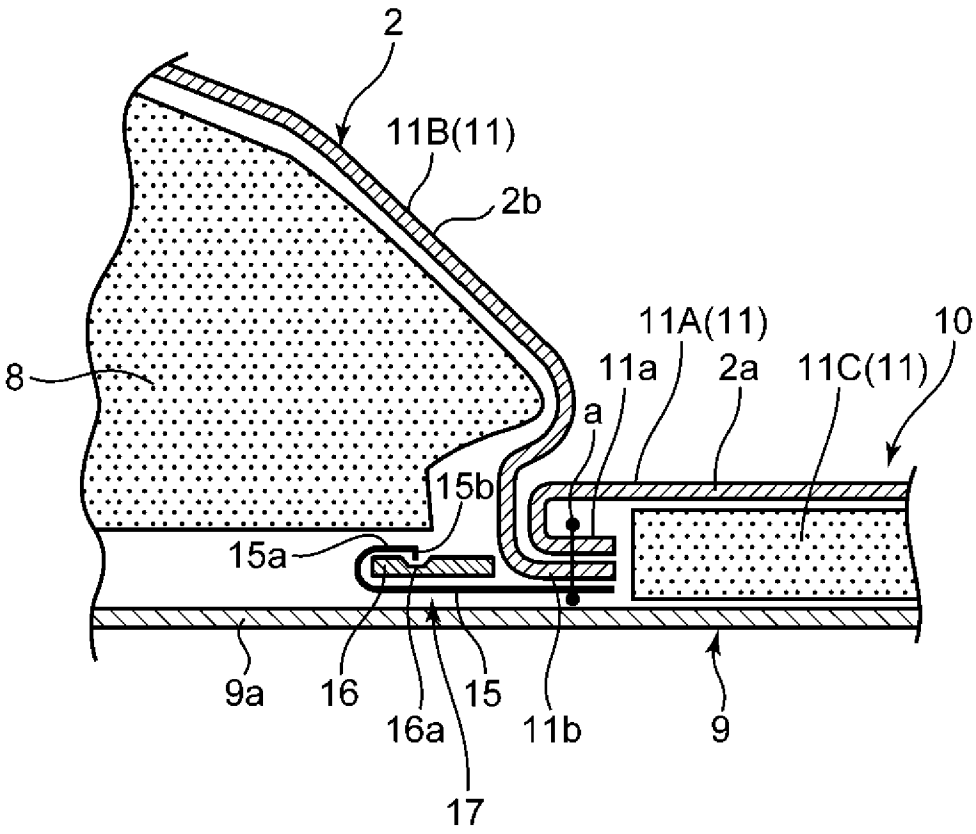
(a)


3a
3
3b
3b
12
11
1
Ⅱ
11B(11)
2b
2
2a
Ⅱ
Ⅰ
2b
Ⅰ
5
5
10
11B(11)
11A(11)

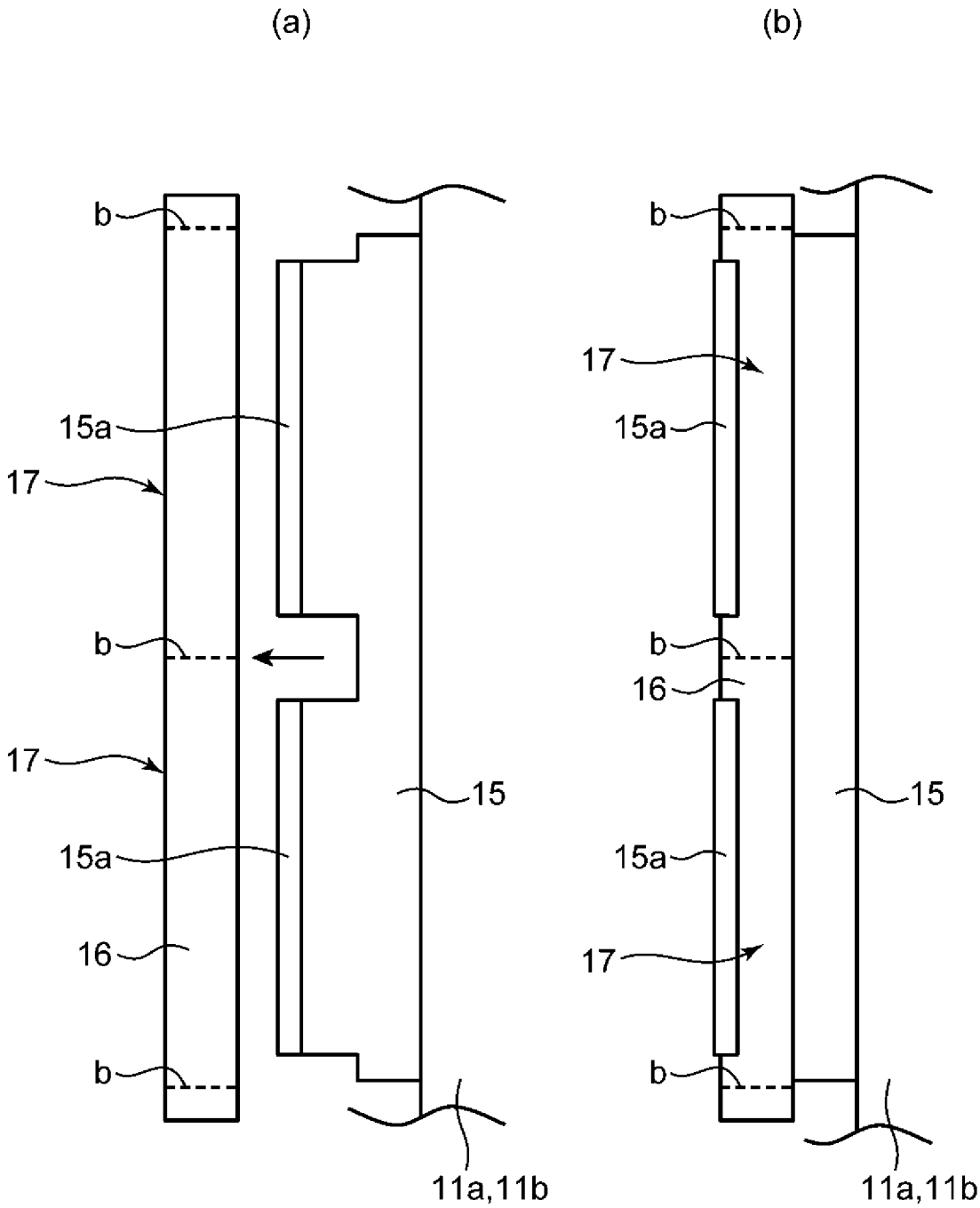
(b)


7
4
9
6
6b
6a
5
5

[図2]

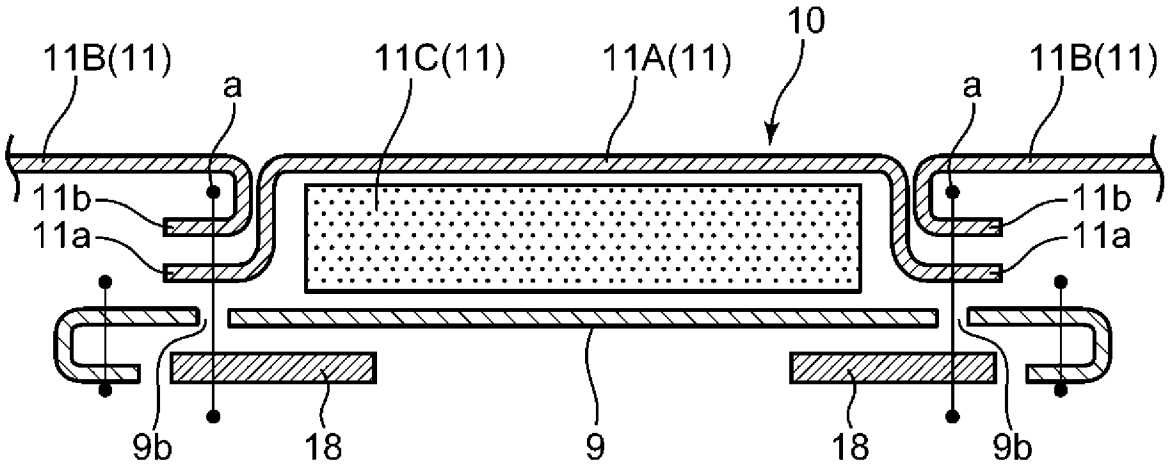


[図3]

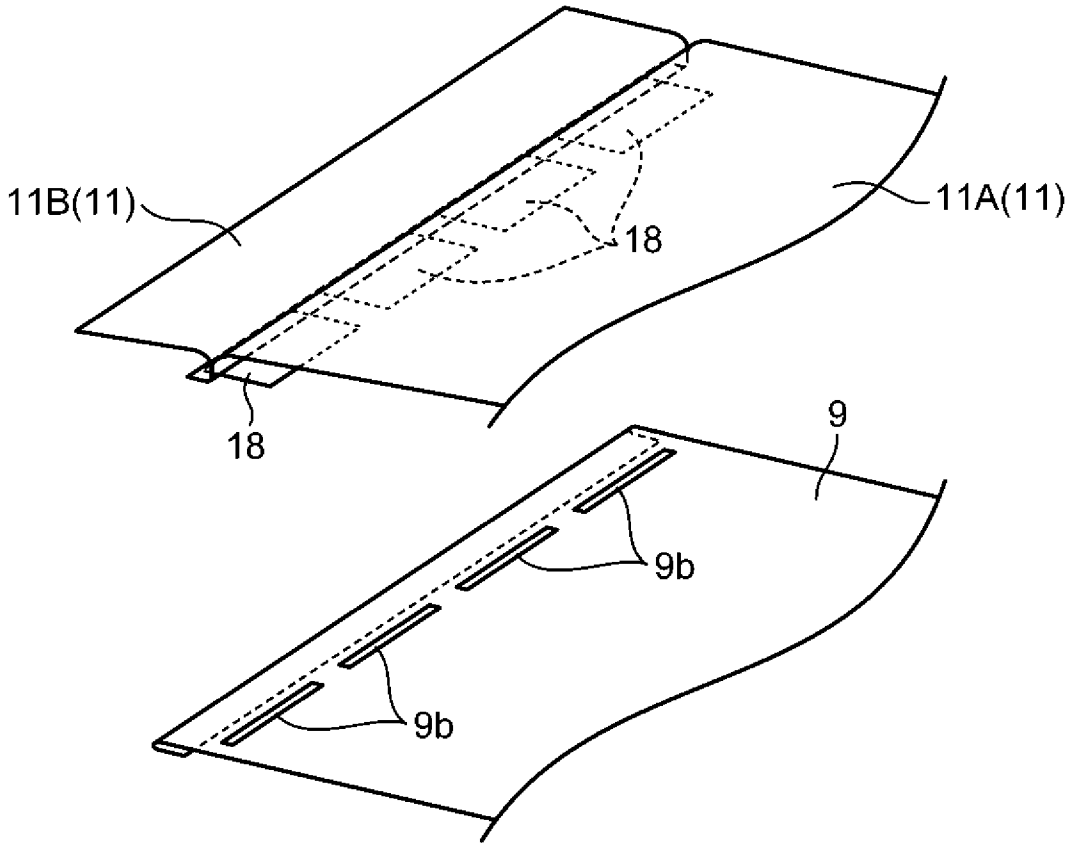


[図4]

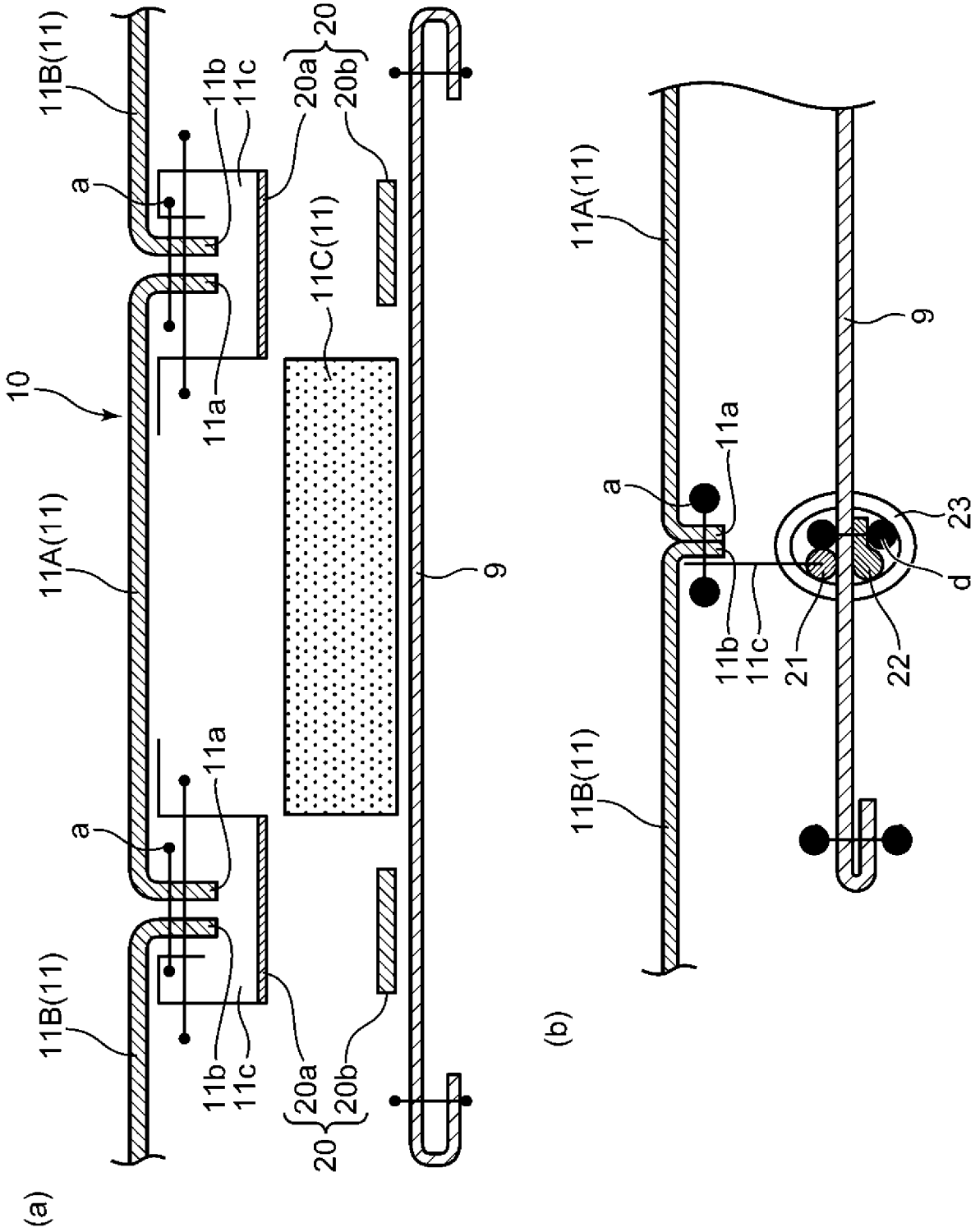
(a)


11B(11)
a
11C(11)
11A(11)
10
a
11B(11)
11b
11a
11b
11a
9b
18
9
18
9b

(b)


11B(11)
18
11A(11)
18
9
9b
9b

[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2015/084608

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
A47C31/02(2006.01)i, *A47C7/28*(2006.01)i, *B60N2/70*(2006.01)i, *B68G7/052*(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
A47C31/02, A47C7/28, B60N2/70, B68G7/052

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2012-35811 A (Toyota Motor Corp.), 23 February 2012 (23.02.2012), paragraphs [0044], [0049] to [0051], [0055] to [0056], [0059], [0064] to [0066], [0069], [0089] to [0090]; fig. 1 to 4, 8 to 9 & US 2013/0134749 A1 paragraphs [0085], [0092] to [0094], [0098] to [0099], [0103], [0109] to [0117], [0120], [0141] to [0142]; fig. 1 to 4, 8 to 9 & WO 2012/020697 A1 & CN 103079887 A	1-2,5 3-4,6
X Y	JP 48-37539 Y1 (Bridgestone Tire Co., Ltd.), 08 November 1973 (08.11.1973), column 1, lines 23 to 26; column 2, lines 19 to 37; fig. 1 to 2 (Family: none)	1-2,5 3-4,6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
04 February 2016 (04.02.16)	16 February 2016 (16.02.16)

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
Japan Patent Office 3-4-3,Kasumigaseki,Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915,Japan	Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2015/084608

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 120981/1976(Laid-open No. 39605/1978) (Kunimatsu Kogyo Kabushiki Kaisha), 06 April 1978 (06.04.1978), specification, page 2, lines 14 to 19; page 3, lines 4 to 18; fig. 1 to 2 (Family: none)	3
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 109853/1984(Laid-open No. 23900/1986) (Tokyo Seat Co., Ltd.), 12 February 1986 (12.02.1986), specification, page 8, lines 5 to 15; fig. 6 (Family: none)	3
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 32936/1993(Laid-open No. 3500/1995) (Takashimaya Nippatsu Kogyo Co., Ltd.), 20 January 1995 (20.01.1995), paragraphs [0006] to [0008]; fig. 1, 3 (Family: none)	4
Y	WO 2012/150633 A1 (Toyota Motor Corp.), 08 November 2012 (08.11.2012), paragraphs [0040] to [0042], [0047] to [0049], [0051], [0055] to [0060]; fig. 1 to 3 & EP 2705981 A1 paragraphs [0043] to [0045], [0050] to [0052], [0055], [0060] to [0065]; fig. 1 to 3 & US 2014/0049090 A1 & CN 103502047 A & KR 10-2013-0128021 A	6

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１５／０８４６０８

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　A47C31/02(2006.01)i, A47C7/28(2006.01)i, B60N2/70(2006.01)i, B68G7/052(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　A47C31/02, A47C7/28, B60N2/70, B68G7/052

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１６年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１６年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１６年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
X Y	JP 2012-35811 A（トヨタ自動車株式会社）2012.02.23, 段落 0044, 0049-0051, 0055-0056, 0059, 0064-0066, 0069, 0089-0090; 第 1-4, 8-9 図 & US 2013/0134749 A1, 段落 0085, 0092-0094, 0098-0099, 0103, 0109-0117, 0120, 0141-0142; 第 1-4, 8-9 図 & WO 2012/020697 A1 & CN 103079887 A	1-2, 5 3-4, 6

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。　　☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
０４．０２．２０１６	１６．０２．２０１６

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　３Ｒ　３６２２
角田　貴章
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３３７２

Ｃ（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
X Y	JP 48-37539 Y1 (ブリヂストンタイヤ株式会社) 1973.11.08, 第1欄第23-26行, 第2欄第19-37行; 第1-2図 (ファミリーなし)	1-2, 5 3-4, 6
Y	日本国実用新案登録出願51-120981号(日本国実用新案登録出願公開53-39605号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (国松工業株式会社) 1978.04.06, 明細書の第2ページ第14-19行, 第3ページ第4-18行; 第1-2図 (ファミリーなし)	3
Y	日本国実用新案登録出願59-109853号(日本国実用新案登録出願公開61-23900号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (東京シート株式会社) 1986.02.12, 明細書の第8ページ第5-15行; 第6図 (ファミリーなし)	3
Y	日本国実用新案登録出願5-32936号(日本国実用新案登録出願公開7-3500号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM (高島屋日発工業株式会社) 1995.01.20, 段落0006-0008; 第1, 3図 (ファミリーなし)	4
Y	WO 2012/150633 A1 (トヨタ自動車株式会社) 2012.11.08, 段落0040-0042, 0047-0049, 0051, 0055-0060; 第1-3図 & EP 2705981 A1, 段落0043-0045, 0050-0052, 0055, 0060-0065; 第1-3図 & US 2014/0049090 A1 & CN 103502047 A & KR 10-2013-0128021 A	6